

第5回 白須賀地区学校再編検討委員会 議事録

日 時	令和7年12月24日(水)
場 所	湖西市役所
参加者	28名 委員 7名（学識経験者1名、保護者代表1名、地域代表3名、校長2名） 事務局 5名（教育長、教育次長、学校教育課長、学校教育課職員2名） 市長 1名 傍聴者 15名

会議内容

市長の挨拶の後、議長より本日の議事内容の説明があり、事務局からアンケート結果の説明、事務局への質問や委員同士の意見交換を行った。

1 「地域住民アンケート結果、小中学生アンケート結果について」

- ・地域住民アンケートは、1,121世帯に配布し、回答者が582名であったため、回答率51.9%だった。A案「小中学校ともに存続」が61%（355件）、B案「小学校は存続、中学校は近隣の中学校に統合」が31%（178件）、「A案、B案以外の案」が8%（46件）。
- ・高校生の子どもがいる世帯、中学生の子どもがいる世帯、小学生がいる世帯、未就学児がいる世帯、それぞれの属性の結果を見ると、未就学児がいる世帯のみA案が42%、B案が46%、その他が12%とB案がA案を上回ったが、その他の世帯では全てA案がB案を上回っていた。
- ・小中学生向けアンケートは、回答数が208名であった。結果は、「小中学校ともに存続」が75%、「小学校は存続、中学校は近隣の中学校に統合」が21%、「他の考え、まだよく分からない」が4%という結果だった。

<質問①>小学生と中学生がいる世帯の回答率が約90%であるのに対し、未就学児がいる世帯は約65%だが、この回答率で十分に考えを反映できているのか。

<回答①>サンプル数が少ないという意見もあるが、統計学上の観点で言えば、有効である。ただ、アンケート結果はあくまで判断の参考材料としたいと考えている。

【委員長より】

未就学児のアンケートも郵送と各戸配布で実施し、回答率も50%を超えているので妥当かと思う。また、高齢者の回答が多い点も、市の高齢化率を考慮すると、おそらく統計的に妥当な結果ではないかと思う。

<質問②>アンケート結果を見ると、もともと教育委員会が学校再編の理由として挙げていた、「クラス替えができる規模が必要」という方針はニーズと合致していたのか。

【委員長より】

もともとの再編方針と違うのではという点については、当検討委員会にて議論を進める中で、アンケートを実施する方針に修正した経緯がある。

<質問③>アンケート結果の中で、集団母数が異なる部分があるが、どういった理由なのか。

<回答③>世帯数と回答人数は集団母数の考え方に違いがあるために、異なる。最終的にアンケート結果を公表する際にはその点が分かるよう修正する。

<質問④>私はイマージョン教育など特色のある学校をつくることで、市に人を呼び込む拠点を白須賀地区につくる、加えて市全体で学校自由選択制を取り入れ、特色ある学校で学びたい人は白須賀地区に来てもらう、という考え方が良いと考えている。前回の検討委員会で湖西市の教育ビジョンについて質問した際の回答が、アンケート結果を受けて検討するということだったが、その後の進捗を知りたい。

<回答④>前回は回答した通り、現在、次期「教育振興基本計画」を策定中であり、その中で方針を提示したいと考えている。また、人を呼び込むために学校がどうあるべきかということについては、今後も継続検討事項としたい。

【委員長より】

学区自由選択制については、採用している自治体をみても、良いことばかりではない。今回のアンケートで「地域とのつながりが大事」という回答があるなかで、学区自由選択制は、ある意味、地域と学校を切る結果になる懸念もある。

【委員より】

この委員会として一つの方向性を出していかなければいけないと思う。アンケート結果では、A案への回答が多いことから、方針としてA案を採用するのが妥当だが、B案への回答も少なくないため、その意見も尊重できるようにしていくことが必要だと思う。

<質問⑤>前回、現場で指導されている先生方の意見を聞くアンケートを実施してはどうかという意見があったが、どうなったのか。

【委員長より】

先生方へのアンケートは実施していないが、この場で学校の先生に学校再編について言える範囲で意見を伺いたい。

【委員より】

個人的な考えだが、経験上、子どもたちは、ある程度多くの他者に囲まれる環境下で自分と他者の違いに気づき、自身を成長させていけると思う。人数が少なく限られている環境下で人間関係を築いていくことは、少し懸念があると思う。

【委員より】

人間関係構築のスキルなどについて現場の先生方も努力していると感じるが、教育環境上、なかなか苦しい場面もあると認識している。

【委員長より】

学校の規模が非常に小規模になると、男女どちらかの人数の偏りが大きくなり、教育環境としては健全とは言い難い。また、小規模校になっても学校公務そのものは変わらないため、男女差のある教育環境への配慮は教員の負担が大きくなり、どこまできめ細やかな指導が可能かについては懸念がある。

【委員より】

自分自身は、できればその地域のことも考えると、中学校や小学校がより良い教育環境になっていく形で残ってほしいと思う。しかし、アンケート結果で、子どもがいる世帯以外は圧倒的に A 案だが、未就学児がいる世帯は B 案よりであるため、地域の住民としてどう考えていくのが非常に悩ましい。ただ、このまま方針が定まらない時間が長くなるのは良くないと思う。

【委員より】

小中学生向けアンケートで、存続してほしいとの意見が多いのは、現在の自分の学校への満足度が高いためだと思った。

【委員より】

白須賀小学校は、地域の方の関わりも深いこと、自然にあふれた学校であること、特別支援学級も充実していることなど、自慢できることがたくさんある。そういった点が小中学生向けアンケート結果に出ているのではないか。

<質問⑥> アンケート結果の中に、現在白須賀小学校でバス通学している保護者からの意見で、急に午前中で授業が終わった時にバスがなくて困るという意見があったが、その点は見直してもらえるのか。

<回答⑥> 北部地区の学校再編を実施していること、新居地区にもバス通学している児童がいることから、今後どうしていくかについて現在検討している。

【事務局より】

本日欠席の委員からの意見を紹介する。「小学生、未就学児がいる世帯の意見を尊重するのが良いと思うが、アンケート結果だけでは A 案、B 案どちらかに結論付けるのは難しいのではないか。」「地区の人口を増やす政策を行い、地区の将来像とセットで決めていくのが良いのではないか。」「アンケート結果から住民の方々が真剣に考えていること、注目度が高いことに気付かされた」、「A 案が 6 割を占めているので、存続という方針が良いのではないか。」などの意見をいただいている。

【委員より】

アンケートの中で部活動に関する項目もあり、今後部活動は地域クラブに移行すると思うが、その情報はしっかりと保護者へ公開する必要があると思う。

<質問⑦>学校教育について、教育委員会と各学校でどのような役割分担となっているのか。

<回答⑦>教育委員会は大きな方向性を示し、環境を整備する役割、校長が責任者となって各学校が具体的な教育を実施する役割となっている。

【事務局より】

次回委員会を1月20日に予定していたが、アンケートで様々な意見を頂いており、検討の時間が必要であるため、開催を1月下旬もしくは2月上旬に延期する。開催日時が決まり次第、連絡する。

以上